

原 明 議員（代表質問）

1 水野市政について

- (1) 水野市政1期目を振り返り4年間の成果を伺う。
- (2) 水野市長が進める今後の滑川市の展望について伺う。
- (3) 市長提案理由説明の中で、令和8年度予算編成方針を説明されたが、具体的な取組について伺う。

2 富山地方鉄道本線維持に係る今後の方針について

- (1) 11月29日のあり方検討会本線分科会で今後の協議対象をあいの風との並行区間である滑川ー新魚津駅間に絞ることが確認されたが、その結論はいつ出すのか伺う。
- (2) 富山地方鉄道鉄道線に関する意見交換会が12月6日から各地で開催されているが、意見交換会では、どのような意見があったのか伺う。
- (3) 県議会地方創生産業委員会で議論の焦点となっている本線の滑川ー新魚津駅間の協議を深めるため地域住民へのアンケート調査を実施する要望がされた。滑川市でもアンケートの実施が重要だと思うが見解を伺う。

3 有害鳥獣対策について

- (1) 富山県内でのツキノワグマの捕獲数が11月25日時点で328頭となり最多となった。出没は992件で過去2番目に多かったと報告された。滑川市での捕獲数と出没件数を伺う。
- (2) 人間の生活圏とクマの生息地の間に緩衝地の整備が住民の安全確保に必要である。市の取組について伺う。
- (3) 鳥獣被害対策実施隊員の報酬やクマの駆除費用全般に支援すべきと考えるが、見解を伺う。

4 農業の振興について

- (1) 県が、令和8年度産米の増産を決定したが、JAアルプス、滑川市の増産数量を伺う。
- (2) 農作業者の高齢化や担い手不足が問題となっている中で、積雪期の前に種もみをまく「水稻初冬直まき」の栽培方法の取組について伺う。

5 観光遊覧船キラリンの運航について

- (1) 令和4年4月23日に発生した知床遊覧船沈没事故を受けて、旅客船、遊漁船等に対する安全設備等の義務化が国土交通省より公表された。キラリンへの安全設備は万全か伺う。
- (2) 観光遊覧船キラリンは製造されてから25年が経過している。老朽化による修繕費を考えると、新造を検討すべきとも思うが見解を伺う。

6 ダナン市ホイアン坊との友好交流締結について

- ・ ダナン市ホイアン坊との友好交流の締結に向けた取組状況について伺う。

7 市民会館大ホールの建設について

- ・ 市民会館大ホールの在り方検討のために実施されたアンケートの結果を受けて、府内ではどのように協議されているのか伺う。

安達 真隆 議員（代表質問）

1 地域公共交通の利便性について

- (1) 富山地方鉄道線は、令和8年度まで運行は決まっている。令和9年度以降滑川市を含む、県、沿線自治体との協議はどのように進んでいるか見解を伺う。
- (2) 令和6年度滑川市は、富山地方鉄道に安全輸送等施設整備費補助金として1,030万円を補助している。昨年度において、国・県や他市町村を含めてどれくらい補助しているのかを伺う。
- (3) 12月から市内各地区に対し、富山地方鉄道に関する意見交換会を行っているが、どのような意見が出ているか、また市としてどのような説明をしているのか伺う。
- (4) 令和9年度以降の財政支援について、滑川市の見解を問う。
- (5) 今後、地鉄が廃線になる場合の案として、あいの風とやま鉄道と協議していく必要があるのではないか伺う。
- (6) あいの風とやま鉄道と連携して、新駅建設に取り組む考えはあるか。
- (7) 来年1月から実証運行が始まるよぶマイカーは、利用者の利便性向上の取組として開始する。地鉄やあいの風、駅利用の促進につながるのか、またつなげていくのか見解を伺う。

2 診療所開業等支援事業について

- (1) 12月定例会で、診療所開業等支援事業費で6,862万円の補正予算が計上されている。新規に開設する診療所2件の詳細はどうか。
- (2) 医療機器等購入・更新の協議が3件と聞く。詳細はどうか。

3 物価高騰に対する支援について

- (1) 国の重点支援地方交付金について、市長提案理由説明で、商品券やクーポンなど、食料品の物価高騰に対して、本市も迅速に対応していくと説明しているが、具体的な政策を伺う。
- (2) 滑川商工会議所からの要望書の提出を受け、物価高騰対策において、具体的な話合いはなされているのか伺う。

4 漁港周辺の活性化について

- (1) 今年度、旧滑川蒲鉾跡地の利活用で、海産物の販売が行われた。今年の成果と今後の予定を伺う。
- (2) 現在タラソピアを解体している。跡地利用の進捗はどのようにになっているか。

5 市民課窓口業務について

- (1) 市民課窓口業務は、DXの推進でセミセルフレジを導入している。職員の業務効率の向上につながっているのか伺う。
- (2) 現状の成果、また導入後の市民の反応はどうか。
- (3) 今後、自動窓口についていく予定はあるのか伺う。

吉森　真人　議員（一般質問）

1　滑川市こども・子育て基本条例について

- (1) 市職員からの提案が一つのきっかけとなり、昨年度から動き始めた、滑川市こども・子育て基本条例制定の背景と目的を今一度問う。
- (2) こども基本条例ではなく、こども・子育て基本条例となった理由を問う。
- (3) 第2条において、こどもとは、「市内に住所を有するほか、市内で学んだり、働いたり、活動したりしている18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者をいう」と定めているが、他市町村の条例を見るところほど明確化されていないが、この意図を問う。
- (4) こどもの「挑戦」の権利を保障し、たとえ失敗したとしても全ての大人たちが「挑戦」したことを評価し「応援」するという思いが他と比べても強く感じられる。地域全体による「挑戦応援文化」の醸成が、この基本条例の地域社会の精神的基盤を強化する最も重要な方向性と見られるが、この「挑戦応援文化」に至った経緯はどのようなものか伺う。
- (5) 体制の整備や計画的な推進という抽象的な記述にとどまっているが、「こども計画」の策定や施策の「評価」の規定を加えるべきと思うが、見解を問う。
- (6) 滑川市こども・子育て基本条例（こども版）は、議題として上程されないのはなぜか。
- (7) 第13条において「市は、この条例について、こども、保護者、市民等及び学校等の理解を深めるため、広報及び啓発を行うものとする」とあるが、具体的にどのように行うのか。

2　「光り輝く」まちに関する施策について

- (1) こどもたちの心と体の成長につながる施策について
ア　「社会に学ぶ14歳の挑戦」の実施状況を問う。

- イ これまでに「社会に学ぶ14歳の挑戦」を行ってきた成果を問う。
- ウ 「県水産研究所見学」や「地元の企業見学」での体験的な学習の内容を問う。
- エ 「県水産研究所見学」や「地元の企業見学」での体験的な学習を今後増やしていくべきか。

(2) 中学校空調設備整備事業について

- ア 体育館空調設備設置調査での調査結果を問う。
- イ 実際の施工内容を問う。
- ウ 事業費における、国庫支出金6,879万8千円の内容を問う。
- エ 現状の進捗状況と、今後の学校ごとの工事スケジュールを問う。
- オ 小学校の体育館の空調はどのように考えているのか。

3 自転車について

- (1) 2026年4月1日から、16歳以上を対象に自転車の交通違反に対して、交通反則通告制度（青切符）による取り締まりが導入されるが、その内容を問う。
- (2) 6月定例会の一般質問に対する答弁として「街頭での啓発活動はもとより、市の公式LINEや広報誌などを活用して広く周知を図っていくほか、小中学生の児童・生徒に対しても交通安全教室などを通じて指導を行い、自転車の交通安全教育を充実させてまいりたい」と述べているが、どこまで実施され、今後どのように啓発されるのか。
- (3) 早月中旬では、昨年度より自転車通学を全生徒に対して許可している。滑川中学校でも同様にできないのか。
- (4) 滑川駅等市内各所にレンタサイクルもしくはシェアサイクルを設置してはどうか。

谷崎 潤一 議員（一般質問）

1 安心安全なまちづくりの推進と取組について

- (1) 市内自治会の自主防災組織は何件登録されているか伺う。
- (2) 登録のない自治会の特徴と問題を伺う。
- (3) 自主防災の周知方法や補助金の金額は妥当か。また、自主防災のホームページ等の更新や、補助金の限度額の引上げは可能なのか伺う。
- (4) 自主防災組織に滑川市が機材等の一部を設置するのは可能なのか伺う。
- (5) 備蓄庫増設の進捗状況と、市内施設の発電機設置台数を伺う。
- (6) 被災後の仮設住宅建設予定地について伺う。

2 高齢者支援について

- (1) みんなの居場所「ちよこっと」の月間利用人数、平均年齢や男女比率を伺う。
- (2) 市内高齢者を対象とした、孤独死の発生件数と男女比率、防止対策を伺う。
- (3) 一人暮らしなど、高齢者を対象とした地域食堂の推進や補助、場所の提供を検討できないのか伺う。
- (4) 民生委員の見守り対象は一人暮らしの高齢者が対象となるが、一部高齢者夫婦や親子を見守り対象にすることはできないのか伺う。

3 S D G s 推進事業について

- (1) 令和7年4月から田中小学校に供給されている、「はやつき水の恵みでんき」は、令和8年度も継続されるのか伺う。

(2) 今後、「はやつき水の恵みでんき」の供給を検討している市内企業の件数を伺う。

尾崎 貴志雄 議員（一般質問）

1 重点支援地方交付金について

- (1) 重点支援地方交付金の活用方針と、市民へ支援が届く時期はいつか。
- (2) 低所得者に限らず、中間層、高齢者、子育て世帯などへの追加支援を検討しているか。
- (3) 給付のみで終わらせず、効果検証を行い、継続的な物価高騰対策につなげる考えはあるか。

2 I C T 教育について

- (1) 教職員の I C T 活用指導力向上に関する研修の受講割合が低い理由は何か。
- (2) 受講割合を増加する方策について問う。
- (3) I C T 支援員を増やすべきではないか。

3 日体大との協定締結について

- ・ 12月5日に日本体育大学との間で、体育・スポーツ振興に関する協定を締結した。
ア 市長が期待するものは何か。
イ 令和8年度からの関連事業として検討しているものはあるか。

4 民生委員について

- (1) 12月1日から新たに民生委員が選任されたが、本市の充足率はどれだけか。
- (2) 民生委員のなり手不足対策として民生委員協力員制度の導入を検討してはどうか。

5 市民後見人制度について

- (1) 市民後見人養成講座に応募した受講者は市内で何人か。
- (2) 市民後見人制度の活用促進に向けた本市の取組状況と、今後の方針について問う。

上田 昌孝 議員（一般質問）

1 水野市政について

- (1) 水野市長が掲げるDXとは。市民からはよく分からないと聞くが。
- (2) 水野市長は都市デザインが専門と聞く。滑川市の将来像を示されたい。
- (3) 空き家、津波、水害についてどのようにまちをデザインしていくのか。

2 水野市長の立ち居振る舞いについて

- (1) 水野市長に対しては、朝日町、入善町、魚津市、立山町、富山市、そして滑川市内からも話し方や姿勢などが暗い印象を与えていたとの声を聞く。諫言耳に逆らうという言葉があるが、職員から市長に対して率直な意見を述べる環境が十分に整っていないのではないか。
- (2) 総合防災訓練の際、担架に乗った市長が笑っていた。市民の命を預かる市長が訓練で笑うのはいかがなものかと考えるが、その状況と訓練への思いを問う。

3 安心して眠れるまち滑川に

- (1) 大水の際、沖田川や田中川などの河川の状況をどこまで掌握しているのか。
- (2) 現場を見ず、対策本部にいるだけでは正確な指示はできない。市長の見解は。
- (3) 市長が出張中の災害対応は。

4 介護について

- (1) 家庭内介護事業を続けよ。

(2) 老々介護の進め。

5 福祉村を提案

- ・ 福祉関係を1か所にまとめ、ワンストップ対応で応える福祉村を提案する。

6 水野市長の出身労組について

- ・ なぜ自民党へ入党したのか。

高橋 惺 議員（一般質問）

1 子育て支援について

- (1) 新生児紙おむつ購入券の発行を3歳児まで対象を広げられないか。
- (2) 小学校の新入学児童への通学用リュックサック（ランドセル）を希望者へ無償配布できないか。
- (3) 今後、誰もが安心して子育てできる、そしてずっと住んでもらえる滑川を目指すための計画や施策を問う。

2 通学路危険箇所の整備について

- (1) 毎年、通学路の危険箇所の点検を行っているがその整備状況を問う。
- (2) 今後の整備予定箇所はどこか。

3 コミュニティ・スクールについて

- ・ 今年度から始まったコミュニティ・スクールの各小中学校の実施状況及び今後の進め方や改善すべき点を問う。

4 民間運営の放課後児童クラブへの支援について

- ・ 各放課後児童クラブに市として支援しているのは承知しているが、その支援の対象とならない児童クラブへの支援は考えられないか。

5 冬期通学用のコミュニティバス等について

- ・ 冬期（1月から2月下旬）の通学用のる my car 及びよぶマイカーの朝、夕運行時間の見直し（延長）及び中学校前バス停までのルートの見直しはできないか。

6 滑川市プレミアム商品券について

- ・ 以前の滑川市プレミアム商品券では購入方法は先着順となっていたが、より多くの方が恩恵を受けられるよう、配布方法を見直すことはできないか。

大浦 豊貴 議員（一般質問）

1 なめりかわ未来学校について

- (1) 令和7年度なめりかわ未来学校の事業費は300万円が、当初予算として計上され、一般財源からは150万円で諸収入150万円と見込まれていた。令和6年度のなめりかわ未来学校協議会収支決算では、24社から182万円の企業協賛金が報告されたが、令和7年度の協賛金額や企業協賛数を問う。
- (2) 令和6年度収入244万9,651円から支出149万7,791円の残金95万1,860円が、令和7年度へ繰り越しされている。令和7年度の現在までの収入額及び支出額を問う。
- (3) 1月1日から1月8日までなめりかわ未来学校海外体験 in スリランカが実施されるが、海外体験を企画された経緯・事業費の見込みについて問う。また、募集人員4名に対して応募件数を問う。

2 中滑川複合施設・滑川海浜公園の指定管理者の指定について

- (1) 議案第69号中滑川複合施設の指定管理者の指定について・議案第70号滑川海浜公園の指定管理者の指定について、いずれも前回の指定の期間と同じ民間事業所に指定する議案である。指定管理者制度は、2003年の地方自治法改正により導入され、従来は公共的団体や自治体の出資法人等に限られていた公の施設の管理運営を、民間事業者を含む幅広い団体に開放することで、行政サービスの効率化と質の向上を目指すものである。公募時の事業者数は、競争性の確保維持等にも結びつくものと考えるが、提出された各議案に対する経過・見解を問う。
- (2) 民間事業者を含む幅広い団体に開放された主な目的として、経費削減（民間企業等のノウハウ活用による効率的運営）、サービス向上（民間の創意工夫による利用者サービスの向上）、地域活性化（地域の特性を生かした施設運営の実現）が挙げられる。また施設運営開始時の計画と利用状況や経費（委託料・運営補助等）利用率に差異が生じていないかを踏まえ指定管理者の評価について問う。

- (3) 指定管理者の自主事業の活用や拡大による収益確保に対する現状の見解と提案事業による利益還元の検討について見解を問う。
- (4) 中滑川複合施設メリカ収支決算書では、事業収入として行政側からのメリカ防災啓発業務委託等を含む各業務委託収入が計上されていないが、収入として計上するべきものと、そうではないものの契約等に関しルールづくりがされているのかを問う。

3 診療所開業等支援事業について

- 今定例会に診療所開業等支援事業費6,861万7千円が計上されている。新規診療所開設の事前協議が2件あったことによるものと説明されたが、診療科目、開設場所、開業者の略歴について問う。

4 滑川市上下水道事業について

- (1) 本市では、消費税率の改定によるものを除いて平成8年に上水道を、平成24年に下水道の料金改定を行って以降、料金改定は実施されていない。2月に行われる滑川市長選挙において水野市長は、安心安全で災害に強い持続的な上下水道事業を目指すために、公約として本市の上下水道の使用料の料金改定の実施について市民に問うことはあるのかを問う。
- (2) 令和6年度に滑川市上下水道事業経営委員会が設置されている。委員会の設置に関する趣旨・目的を問う。
- (3) 滑川市水道事業ビジョンのなかで、財政収支の見通しでは、「給水人口の減少に伴う給水収益の減少と施設更新に伴う減価償却費の増大等により単年度収益が減少していきます。さらに、「令和10年度の料金システムの更新に伴い、単年度損益が赤字となります」また、「令和7、8年度に大規模な設備更新事業が控えているため、内部留保資金が大幅に減少し、令和9年度以降も減少傾向となります。本市として6.7億円の内部留保資金を確保しておく必要があるため、計画期間内にて料金改定の検討を行っていきます」としているところである。内部留保目標水準設定の根拠と財源の確保について説明を求める。

- (4) 滑川市下水道事業経営管理計画では、処理区が近接する農業集落排水事業（東加積地区浄化センター）の公共下水道への統合を遅くとも令和12年度までに実施し、処理原価の縮減及び処理施設の統廃合を図る計画があるが、どの程度の維持管理費の削減につながるのかを問う。
- (5) 全国の下水道事業が苦しい状況下のなかで、安定的に継続し、安全なサービスの提供を実現する場合に、公営企業経営の原則である独立採算を目指す場合に適正な使用料の試算を問う。

高川 正樹 議員（一般質問）

1 職員のプロジェクトチームについて

- (1) 市の課題について、職員でプロジェクトチームをつくっていると聞くが、現在いくつのプロジェクトチームがあるのか。
- (2) そのプロジェクトチームは、どのような職員で構成し、いつまでに、どのような成果を上げることを目標としているのか。
- (3) 今後もそのようなプロジェクトチームをつくって検討していくような課題はあるのか。

2 姉妹都市交流について

- (1) 長野県小諸市との職員間の交流や研修が進められているが、どのような活動が行われているのか。
- (2) まずは小諸市と調整が整い始まった職員間の交流や研修であるが、今後、他の姉妹都市とも実現させる考えはあるのか。

3 家庭ごみの有料化について

- (1) 以前から富山市では家庭ごみの有料化について議論が交わされている。報道によると2027年10月から家庭ごみの処理手数料を有料化するため条例改正する方針が掲げられている。同じ報道の中には、滑川市と舟橋村が富山市と足並みをそろえるか検討しているとあったが、滑川市ではどのような検討が行われているのか。
- (2) 富山市が有料化となった場合、滑川市にとってどのような影響が考えられるか。

4 小中学校のグラウンドについて

- ・ 小中学校のグラウンドの改修が進められてきたが、まだまだ排水の状態がよくない学校がある。今後の改修計画はどうなっているか。

水橋　真治　議員（一般質問）

1 行政評価に基づいた予算編成について

- (1) 「滑川市行政経営システム」に基づく政策評価、事業評価の目的と意義は何か。
- (2) P D C Aのサイクルを導入した評価は、全ての政策と事業で行われているのか。
- (3) 事業の無駄の削減と財源の捻出を行うための政策評価、事業評価の課題は何か。
- (4) 他の自治体の評価の先進事例を調査し、積極的に本市の評価に取り入れることはできるか。

2 市基幹系システムの標準化について

- (1) 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、令和8年1月から国が定めた標準準拠システムに移行する作業を進めてきたが、他県の先行団体において、どのようなシステムの不具合が頻発したためにスケジュールを延期したのか。
- (2) システム標準化後に運用経費が増える見込みのため富山県情報システム共同利用推進協議会において、デジタル庁の支援を受けて、どのような精査を行っているのか。また、各市町村が負担する経費はいくらかかる見込みか。
- (3) マイナンバー制度を支えるシステムが外部クラウド上で運用される中、今後、マイナンバーを基盤として政府は個人情報の一元管理を行いやすくなると考える。そのリスクを市としてはどのように認識しているか。

3 福祉について

- ・ 障がいをもつ人が、社会の一員として「就労」で収入を得たり、社会活動でも役割を果たしたりしていくなど、自立した生活を送ることが望まれている。現在、障がい福祉サービスに加え、能力に応じた就労の場の開拓など、関係機関との連携を強化した「就労」に向けての取組はどのように進められているのか。

4 教育について

- ・ 起業家精神とキャリア教育は密接に関連しており、「主体的に課題を見つけ解決する力」「実行力」「失敗を恐れない挑戦心」といった起業家の資質を育むことが、変化の激しい時代にキャリアを拓く力となると考える。市内各小中学校では、どのようにしてキャリア教育が行われているのか。

藤田 紀子 議員（一般質問）

1 まちなかの空き家、空き地対策について

- (1) 滑川市瀬羽町でのまちなか活性化が進んでいる一方、大町、荒町、中町、神明町、常盤町といった旧国道沿いでは5年以上空き家、空き地が増加傾向にある。その総数等の実態は把握できているか問う。
- (2) 空き家、空き地は無用の長物でしかなく、それらの放置は町の景観を害し、台風や地震等災害時、倒壊等危険性が高まる。市として、空き家、空き地の所有者と解体後更地にする、あるいは改築リフォーム後賃貸契約し再利用するといった一歩踏み込んだ交渉は現状では可能か問う。
- (3) それらの交渉を複数の不動産業者に委託し、空き家、空き地の解消を推進することは可能か問う。
- (4) 空き家、空き地の有効活用と管理を進める活動として、コンビニエンスストアやドラッグストア、都市型小型食品スーパーのような企業誘致の取組状況を問う。

2 在宅障がい者の雇用促進について

- (1) A型事業所、B型事業所のいずれにも通所していない障がい者の状況を問う。
- (2) 在宅障がい者がその特性と技能を社会で生かし、発揮できれば、社会とのつながりができ、自信になり、生活の安定に寄与する。障がい者の職業訓練機能も備えた企業への雇用実績を問う。

3 就職氷河期世代の雇用促進について

- ・ 就職氷河期世代の人々の多くが非正規雇用であり、不安定な生活状態で苦しんでいる。氷河期世代の人々は40代と50代を中心に推定1,700万人～2,000万人が該当するとされている。就職氷河期世代の人々の雇用促進についての市の取組を問う。

4 放課後児童クラブについて

- ・ 旧NTTの建物は寺家小学校前にあり、放課後児童クラブとして活用した場合、児童が移動しやすく、父兄も送迎しやすい。また、災害時、近隣住民の避難場所として活用できるものと考える。市として、建物等の取得に向け、NTT側と交渉することは可能か問う。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 海上観光について

- (1) 今定例会で、観光船キラリンのエンジン修理に約227万円の予算がついている。修理の内容は。
- (2) 船長、運航管理者、安全統括責任者の各資格保有者は何名いるか。また船員の特定教育訓練の状況は把握しているか。
- (3) 船員の報酬と労働時間の概要はどうか。魅力ある働き方や待遇の改善は。
- (4) 滑川市と滑川漁業協同組合と株式会社ウェーブ滑川との取り決めや協議などはどうになっているのか。また合意書等の契約書はあるか。
- (5) 滑川市の海上観光の意気込みを再度問う。
- (6) 新造船の購入予定はあるか。

2 法整備と実務の矛盾について

- (1) 市道及び位置指定道路に敷設してある上下水道管の所有の所在について市の見解は。
- (2) 不動産登記法が改正され、相続登記が義務化された。市道の所有者が個人及び法人になっているものの所在についての市の見解は。
- (3) 農地法の転用申請に添付する承諾者はどのような方が対象なのか。

3 持続可能なPTAについて

- (1) 市内小中学校のPTA活動について、市の見解を問う。
- (2) 日本PTA全国協議会及び県PTA連合会から仮に脱退する小中学校が現れた場合、どのような対応をするのか。

古沢 利之 議員（一般質問）

1 「こども・子育て基本条例」に関する質問

- 第8条に、市の役割として「相談しやすい環境を整える」とある。那須塩原市などでは「救済委員会」の設置が規定されているが、こどもの権利侵害等への相談のための組織等は考えるのか。

2 富山地鉄本線について

- 早月川橋梁の架け替えに関して試算されたが、橋梁はこれまで補修・補強等はされてきたのか。
- 負担割合などは今後の協議になるのか。「30～85億円」が先行している印象だ。
- 報道によると過日の住民との意見交換会で、市長は「あいの風」を交えた議論が必要と語られたとのことだ。それは並行区間の廃止を前提にしたものか。
- 利便性の向上についてどう考えているか。

3 力口歯令性莫准聴対策としての補聴器等購入助成制度の改善について

- 6月議会でも質問したが、利用状況は「要綱」が目指すところには及ばない。県内2番目の実施だったが、所得要件の撤廃、助成金額の見直しについて助成制度の改善が必要ではないか。